

No.198
2021.7.20

郷土

荘原コミュニティセンター報

令和3年5月31日現在
世帯数.....2,647戸
男 性.....3,600人
女 性.....3,851人
合 計.....7,451人

発行／荘原コミュニティセンター

出雲市美川町荘原3835 (電話)72-4600 (FAX)72-4602

つながる荘原 笑顔の未来
いかそう 人を 歴史を 資源を

6/19
(土)

歴史講演会

演題『出雲神話と荒神谷』



まちづくり部
自主企画事業



藤岡大拙氏が講演してくださいました。わが地域の名士。言わずと知れた有名人。しかも謙譲の士にして人柄は温かく、話は分かりやすく楽しい。鳥根の宝といっても過言ではない藤岡先生。講演の1時間半はあっという間に過ぎたのです。

演題は『出雲神話と荒神谷』。地方史学者としての立場から出雲神話をひも解き、ご自身の経験も交えながら、われわれ出雲人の琴線に触れるお話をいただきました。「荘原コミセンまちづくり部」として、先生には講演いただきたい趣旨を、次のように伝えていました。

■日本の源流に連なる出雲神話。荒神谷遺跡をはじめ出雲の遺構と伝承が証明するかもしれない太古の謎。出雲神話のエピソードに大胆な仮説も交え、我が出雲の誇りを呼び覚ましてください■

無茶ぶりではありましたが、先生は「古事記」や「日本書紀」、「出雲風土記」をひも解いて、いとも簡単にお応えくださいました。

出雲の古代史は、大和王権によって出雲の勢力が削がれていく様子として記述されています。それが記紀の神話では、大和王権による騙し討ちの歴史として描かれています。

『古事記』によると大和の総司令官として倭健命(ヤマトタケルノミコト)は、九州征伐のあと出雲に立ち寄りました。言葉巧みに出雲健(イズモタケル)に近づき、斐伊川で沐浴(川遊び)しようと誘いかけ、終いには騙して惨殺します。あらかじめ自分の太刀を木刀に替え、出雲健に持たせて「いざ刀(たち)合はさむ」と斬りかかったというではありませんか。有力な豪族を失って出雲國は力を奪われていきます。無念だったことでしょう。

『日本書紀』では、さらに大和は出雲大社の神宝を奪います(剣か玉か?)。しかも謀略によって兄弟豪族であった出雲の振根(ふるね)と入根(いりね)を仲違いさせます。終いに振根は入根を殺します。悔しいですね。しかし、藤岡氏はおっしゃいます。確かに出雲は敗北の歴史だが、出雲人は立派に郷土を築き上げ、今地域の可能性を最大限に発揮している。弱まることはない。

出雲國の中枢が斐伊川で川遊びできる距離だったということです。また「出雲風土記」にえがく健部郷(たけるべのさと)は、荒神谷の近辺です。すなわち二千年前には荘原地区の中に出雲勢力が栄えていたのです。

荒神谷遺跡の大発見から37年となります。古代出雲が繁栄したことは立証されました。いまだにコンプレックスを持つ向きもあるかもしれないが、荒神谷遺跡の本家だと思って堂々と自慢して、誇りをもって出雲に生きようと先生は締めくくられました。



5/24
(月)

大豆種まき・さつまいも苗植え

こども倶楽部

自主企画事業

今年も始動しました!「こども倶楽部」の畑作り! 庄原幼稚園・庄原保育園・東部保育園の先生方と一緒に、畑の準備を行い、5月24日に、園児達と一緒にさつまいもの苗を植え、大豆の種をまきました。子どもたちは、これから秋の収穫の日まで、さつまいもと大豆の成長を見守ってくれます。この体験を通じて、作物を育てる楽しさや大変さを子どもたちに味わってもらえたら……というのがこども倶楽部の想いです。美味しいさつまいもと大豆が出来ますように。



先生方と うね立て



さつまいも苗植え



大豆種まき

今年のこども倶楽部の畑スケジュール

- 5/10 肥やしまき・草取り
- 5/12 畑打ち
- 5/18 畑うね立て・マルチ張り
- 5/24 さつまいも苗植え
- 5/26 大豆種まき
- 6/24 大豆間引き
- 7/1 大豆土寄せ

園児達がさつまいもの水やりに来てくれました!

6/19
(土)

こどもお花クラブ始まりました

放課後こども教室



6月19日土曜日から今年度の活動が始まりました。庄原小学校の1年生から6年生の男女12名が参加しています。2人の講師の先生に教わりながら、花の生け方、花器の選び方など技と心を磨きます。活動は、講師の先生が花や花器を選んだ理由や、好きなところを子どもたちに発表させながら進んでいきます。後半は、出来上がった作品を前に並べて鑑賞会です。また、その日の自分の作品について、一人ひとりが持っている『お花ノート』に記録していきます。

花を生ける技術を追求するだけでなく、花と会話したり友達の見方や考え方を聞いたりしながら感性を高めています。継続して取り組んでいる子どもも多く、準備や片付けの時には講師の先生を助けたり、友達にアドバイスしたりしています。

10月に開催される文化祭の作品展示と、年度末に開催されるミニ展覧会で、地域のみなさんに作品を見てもらえるようにがんばって取り組んでいます。楽しみにしてください。



出来たあ!

1 班
5/11
(火)

2 班
5/20
(木)

3 班
5/28
(金)

学んだり身体を動かしたり、楽しく活動しています!

ふれあいサロン
おいでませの会

5月のサロンは、庄原の歴史に詳しく「荒神谷博物館」や「古代出雲歴史博物館」のボランティアガイドなど多方面でご活躍中の庄原在住の保科晴夫さんに明治・大正・昭和時代の庄原の町並みと、そこにある地名の由来、町の成り立ちなど、昔が懐かしく思い出される話をいただきました。会員のみなさんにとって、在りし日の庄原に思いをはせることができた充実したひとときとなったことと思います。



1 班
6/8
(火)

2 班
6/17
(木)

3 班
6/25
(金)

6月のサロンは、介護予防体操に取り組みました。

1班は、フィットネスリーダーの佐野あつ子さんにソフティボールを使った介護予防体操を教えていただきました。一人ではできないこともみんなと一緒にすることで楽しくできました。

2班と3班は、日本笑いヨガリーダーの伊藤八恵さんに「笑いヨガ」を教えていただきました。

コロナも曇さも吹き飛ばせとばかりに明るい笑い声が終始コメセン集客室に響いていました。



もはじまりました！

ふれあい交流部

6/4
(金)

笹巻き作り

自主企画事業
東部保育園・荘原保育園

端午の節句の時期に子どもの健やかな成長を願って作られる笹巻きを保育園の園児さんと一緒に作りました。笹巻きは、出雲地方に伝わる郷土食であり、保存食であり、笹の香りに季節を感じることができます。

笹は、笹巻きの前日に「ふれあい交流部」の部員と東部保育園と荘原保育園の先生で取りに行きました。笹巻きにちょうどいい大きさの笹が取れました。

笹巻き当日、「さあ、笹巻きを作るぞ！」とやる気満々の子どもたち。

「ふれあい交流部」のみなさんや園児の保護者さんに教えてもらいながら「笹巻きづくり」に挑戦しました。「団子は三角にしてね」「笹でくるんで巻くのは、ちょっと難しい」「いい香りがするね」とみんな楽しそうでした。

笹巻きづくりを通して、郷土食を伝えていくとともに子どもたちと世代間の交流を図ることができました。



6/27
(日)

木漏れ日と森林浴と絶景＝自然のフルコースを満喫 大黒山自然観察会

講師：佐藤 仁志 氏

日本野鳥の会副会長、島根大学非常勤講師、樹木医

健康

スポーツ部

自主企画事業



日替わりで変化する天気予報に一喜一憂しながら当日の朝を迎えました。前日までの雨も上がり、集合場所の「みはらし本陣」には、34名の大人と20名の子どもたちが集まりました。

登山道中の樹木には、「木名板」が取り付けられており、説明を見ながら歩くことができます。この日は、準備していただいた資料を使いながら、みんなでゆっくり登っていきます。

葉に卵を包んで落とす習性が、昔の巻き窓文(ラブレター)を落とす様子に似ていることから、「オトシブミ」(落とし文)という名前をもらったロマンチックな虫のお話。耳を澄まして聞こえてきたのは、鳥好きの方々から憧れの鳥とされる、尾の長いきれいな鳥「三光鳥」。前歯でかみつぶすと粘りが出る「タブノキ」の葉は、線香に使われていたことや、紙の原料で繊維が強く紐にもなる「ガンビ」のこと。自然観察指導員の佐藤先生からは、たくさんのお話を教えていただきました。

約2時間かけて登頂。山頂では蝶々が乱舞し、出迎えてくれました。「兵主神社」に参拝し、眼下に広がる斐川平野の絶景と涼しい風と

晴れた空にほっと一息。参加された皆さんも、心地よい汗をかき、多くの動植物との触れあいを楽しむことができました。

「そういえば、大黒山って何年も登ってないわ。」という方は、機会をつくって「木名板」を探しながら、ゆっくり登って地元の良さを感じてみてください。

指導していただいた佐藤先生、資料を提供していただいた諏訪・兵主神社宮司の福岡百樹様、ありがとうございました。



5/29
(土)

寄せ植え教室

「やまももの会」社会文化部

「しまね花の郷」で「寄せ植え教室」を行いました。コロナ禍で外出が制限される中、近隣の施設での活動を企画したところ、30名の参加がありました。2グループに分かれ、「寄せ植え教室」と「園内散策」をそれぞれに楽しみました。

「寄せ植え教室」は、「しまね花の郷」の榎野加奈さんに植物の性質や植え方などを丁寧に教わりながら、5種類の植物を1時間かけて植えました。

「園内散策」では色とりどりの花に心がなごみ、「トキ分散飼育センター」ではトキの特徴などの説明を受け、とても勉強になりました。

今回の活動は「やまももの会」の久しぶりの活動だったため、話がつきず、時間がたつのも忘れたほどでした。会員みんなで楽しい時間を共有でき、とても有意義な研修となりました。



7/5
(月)

荘原コミセン 自衛消防訓練の実施

消防用設備点検業者の方の指導の下、消防訓練を行いました。いざという時に役立てていけるよう、皆が真剣に行いました。訓練の内容を反省し、有事の際の役に立てていきたいと思っています。



6/6
(日)



ひかわキレイマルシェ

～今ここにあるモノ・ヒト・コトの良さに気づく～

2015年に産声を上げた「ひかわキレイマルシェ」は今年で6回目(昨年は中止)。このコロナウイルス禍で実施するにあたり、実行委員会ではこれを機に原点に立ち返りこの街の良さを再確認しようと考えました。出店者は斐川で活動、出店されている方々に限り、配布するチラシも地元斐川東中の美術部の皆さんにご協力いただきました。また、来場者に斐川の良い所を書いてもらおうとマップも作成し、新聞で作ったエコバックも配布することにしました。当日は、梅雨とは思えない好天で、朝から多くの方々が足を運んでくださり、私たちの予想を大きく上回る1,500人もの来場者でした。子ども連れのご家族から若者、お年寄りまで、皆お目当てのお店で久しぶりのマルシェを楽しまれています。多くのお店で売り切れ続出。会場は笑顔であふれ「待ってましたよ」「(出店して)良かった」の

うれしい声も……。私たちが気づかなかった「斐川の良いところ」も皆さんからたくさん教えてもらい、まさしく“ここにしかないマルシェ”となりました。スムーズな運営にご協力いただきました来場者、出店者の皆様、ボランティアとして活躍してくださった斐川東中の生徒さんたち、新聞エコバックを提供していただいた「エコフレンドリークラブ」の皆様、その他関係各位に心から感謝申し上げます。また、来年、「ひかわキレイマルシェ」でお会いしましょう。

主催 元気な斐川を創る会
ひかわキレイマルシェ実行委員会
後援 荘原地区自治協会
荘原コミュニティセンター



6/13
(日)

宍道湖・中海一斉清掃

出雲市環境保全連合会荘原支部



6月13日(日)に、出雲市環境保全連合会荘原支部の役員で、「宍道湖・中海一斉清掃活動」に参加しました。あいにくの雨天でしたが、地元の「斐川しじみ組合」の皆さんと共に、宍道湖沿岸のごみ拾いをしました。ペットボトル、空き缶、発泡スチロール、煙草の吸殻、釣り糸……大小さまざまなごみが出てきました。見えにくい場所に意図的に捨てられたであろうごみもあり、マナーの悪さが目立ちました。



展示のお知らせ

写真でたどる荘原 あの日あの時



まちづくり部



「荘原コミュニティセンターまちづくり部」では令和2年度に荘原の明治以降の歴史資料を募ったところ、多くの方から資料の提供をいただきました。歴史資料を写真に収め「災害」「スポーツ」「戦争」など8つの分野に分類しました。

なつかしい荘原の姿を目にすれば、荘原への愛憎が深まることと思います。ぜひ、荘原コミセンにお立ち寄りいただき、ごゆっくりご覧ください。今後、何回かに分けて展示します。みなさまのご来館をお待ちしております。

※展示物をご覧いただける時間は平日の朝9時から夕方5時までです。

お礼

寿昌クラブ荘和会 タオルのご寄附

「荘和会」の皆様から、沢山のタオルを頂きました。大切に使用させていただきます。ありがとうございます。



ご寄付御礼

香典返し 金一封

杉原 克博様(喜多自治会)
須田 智博様(中之町自治会)
原 禮三様(北組自治会)
浅野 定道様(栄町自治会)

皆様から寄せいただきましたお志は、荘原地区社会福祉事業に活用させていただきます。誠にありがとうございます。